

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

FBC Weekly Business Newsletter

東欧経済ニュース

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8 , 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, http://www.fbc.de

2006年3月8日号



モンテネグロ独立投票、5月21日に実施

ポーランドの中古車輸入、1月は減少
ハンガリーの貿易赤字、05年に縮小

< 中東欧経済最前線 > スロベニアのユーロ参加は2007年1月、
エストニア、リトアニアは黄信号

< 統計 > 中東欧見本市カレンダー

No. 470

【総合】

モンテネグロ独立投票、5月21日に実施	3
コソボ首相にチェク氏指名・最終地位交渉に影響も	3
鳥インフルエンザ、ポーランドでも確認	3
ラトビア政府、ユーロ導入計画を採択	4

【中欧諸国】 ポーランド・ハンガリー・チェコ・スロバキア・スロベニア

ポーランド家電最大手ゼルマー、新製品を積極投入へ	4
ポーランドの中古車輸入、1月は減少	4
日本通運、ポーランドに事務所開設	4
フィアットのポーランド子会社、05年決算は3倍増益	5
ポーランドの製薬メーカー、05年は増収増益	5
スズキ、ハンガリー工場の能力倍増へ	5
TDK、ハンガリーのフェライト工場閉鎖へ	5
チェコの貯蓄銀行大手、05年決算は最高益	5
チェコの石化大手ユニペトルル、05年決算は増収も減益	6
チェコの電力最大手CEZ、05年決算は最高益	6
シュコダ自、新型車「ルームスター」を公開	6
TPCAのチェコ工場、フル生産で稼働	6

【東欧・CIS諸国】 バルカン諸国・バルト諸国・ロシア・独立国家共同体(CIS)

セルビア政府、携帯大手の入札実施へ	7
ゼロックス、2005年中央アジアの売上17%増	7
ロシアの自動車生産、1月は10%増	7
米クラフト、サンクト・ペテルブルクにコーヒー工場新設へ	7
いすゞ、ウクライナにトラック・バスの販社設立	8
蘭ミタル・スチール、ウクライナで大規模投資	8

【公式統計】

ハンガリーの貨物輸送量、05年は4%拡大	8
ハンガリーの貿易赤字、05年に縮小	8

【中東欧経済最前線】

スロベニアのユーロ参加は2007年1月、エストニア、リトアニアは黄信号	9
-------------------------------------	---

【東欧経済短信】

	9
--	---

【入札・提携情報】

	10
--	----

【目で見る東欧・CIS経済】

中東欧見本市カレンダー（2006年3月～4月）	11
-------------------------	----

< 総合 >

モンテネグロ独立投票、5月21日に実施

セルビアとともに国家連合セルビア・モンテネグロを構成するモンテネグロの議会は2日、独立の是非を問う国民投票を5月21日に実施することを全会一致で議決した。投票率50%以上、有効投票の55%以上の賛成が独立の条件となる。独立が決まれば、旧ユーゴスラビア連邦を構成していた6共和国のうち、最後まで残った国家連合が解体する。

独立に必要な賛成票をめぐっては、独立を推進する与党・民主社会党が有効投票の50%以上、反対派の主要野党が有権者の50%以上を主張し対立していた。仲介に入った欧州連合(EU)が投票率50%以上、有効投票の55%以上の賛成という折衷案を提示、両陣営ともこれを受け入れた。モンテネグロ共和国の人口約63万人のうち、有権者は46万7,000人。

セルビアとモンテネグロは旧ユーゴスラビア連邦解体に伴い1992年に新ユーゴ連邦を発足。03年に連邦を解消して緩やかな国家連合に移行し、国名をセルビア・モンテネグロとした。憲法は3年後に両共和国に独立を問う国民投票を行う権利を認めていた。

昨年11月に実施された世論調査では、独立に賛成が43%、反対が31%、わからないが24%で、賛成が反対を上回っている。

<OST14048>

コソボ首相にチェク氏指名・最終地位交渉に影響も

セルビア・モンテネグロで国連暫定統治下にあるコソボ自治州のセイディウ大統領は2日、1日辞任したコスミ首相の後任に、緊急市民部隊・コソボ保護隊(KPC)のチェク司令官を指名した。コソボ紛争時にセルビア人勢力との戦いを指揮した同司令官が首相の座につくことにセルビアは反発しており、先ごろ始まったコソボ自治州の最終地位を巡る協議に影響が出ることが予想される。

辞任したコスミ首相は、指導力不足を国内外から非難され辞任圧力が高まっていた。同首相は辞任理由について「辞任することが道義的に正しい」と述べるにとどまり、詳しい言及を避けた。

後任に指名されたチェク司令官は、1998～99年のコソボ紛争時にコソボ解放軍(KLA)を率いたほか、90年代前半にはクロアチアでセルビア系住民追放に関わったとされており、セルビアから戦争犯罪者として逮捕状が出ている。

独立を求めるコソボのアルバニア系代表と、セルビアの代表は先月21日から22日にかけて、コソボの最終地位に関して、初めて直接協議を行った。第2回協議は17日に予定されているが、今回の首相交代で実施は微妙な情勢となっている。

<OST14049>

鳥インフルエンザ、ポーランドでも確認

ポーランドの国立獣医学研究所は6日、北西部トルンで死亡した野生の白鳥2羽から高病原性のH5N1型鳥インフルエンザウイルスを検出したと発表した。ポーランドで同ウイルスの感染が確認されたのは初めて。同研究所は英国のウェブリッジ獣医学研究所にもサンプルを送り最終確認を急いでいる。

ウイルスが検出されたことを受けて当局は、欧州連合(EU)の決定に従い感染地点から半径3キロメートルを「保護地域」に指定するとともに、鳥インフルエンザ対策費用を3億ズロチ積み増し、感染拡大の防止を図る方針だ。

<OST14050>

ラトビア政府、ユーロ導入計画を採択

ラトビア政府は2月28日、ユーロ導入の手順に関する国家計画を採択した。同計画によると、2008年1月1日にユーロの現金流通と決済取引を同時に開始。1カ月間は旧通貨ラトとユーロの併用期間とする。金融機関がラトをユーロに手数料なしで交換する期間は6カ月となる。また、通貨切り替えに伴う混乱を避けるため、小売店はユーロ導入に先立つ3カ月間と導入から1年間は価格をラトとユーロの二重表示にすることを義務づけられる。

ラトビアはマーストリヒト条約で定められたユーロ導入基準のうち、財政赤字、債務残高、長期金利の3つを満たしているが、インフレ率が上限を大きく上回っており、08年の導入という目標の達成は微妙な状況にある。これについてSpurdzins財務相は、計画は導入日にかかわらず有効と指摘。また、当面は導入予定日に変更はないとしている。

<OST14051>

< 中欧諸国 > ポーランド・ハンガリー・チェコ・スロバキア・スロベニア

ポーランド家電最大手ゼルマー、新製品を積極投入へ

ポーランドの家電最大手ゼルマーは今年、新製品を積極的に投入する計画だ。掃除機の新製品や低価格ブランドを発売して、売上高を前年比14%増の3億4,100万ズロチに引き上げる。増収分として見込む4,000万ズロチのうち3分の2を新製品で稼ぎ出し、純利益を昨年の2,296万ズロチから3,180万ズロチまで伸ばす。

同社は低価格帯の新ブランドを今年下半期に発売する。当面は掃除機や電子レンジなど、同社が強みを持つ製品分野に限るが、将来的には他分野にも広げる。生産は、製造コストの安い中国に委託する。

また、同社は輸出を倍増させ、売上総額に対する輸出比率を現行の33%から39~40%まで引き上げたい考え。特に成長市場であるロシアや、自社ブランドで展開している中東欧市場に注力する。一方で、国内外で他社買収の機会も模索しているという。(1PLN=36JPY)

<OST14052>

ポーランドの中古車輸入、1月は減少

ポーランドの自動車市場調査会社Samarがまとめた1月の中古車輸入統計によると輸入台数は3万9,622台で、前月比で50%減、前年同月比で30%の減少となった。欧州連合(EU)からの輸入が全体の97%を占め、米国・カナダからの輸入が残り3%を占めた。昨年来増加を続けていた中古車輸入が減少に転じた理由としてSamarは、廃車法の施行に伴う処理費用負担制度の導入や、中古車市場の飽和を挙げている。

輸入車の構成を車齢別に見ると、10年以上が65%、4年~10年未満が30%、4年未満は5.9%だった。また、年式別では94年が最も人気が高かった。1台あたりの平均車両価格は前月より55ズロチ高い1,741ズロチだった。

メーカー別ではフォルクスワーゲン(VW)が8,412台で首位。2位はオペルの6,718台、3位はフォードの、4,121台だった。。(1PLN=36JPY)

<OST14053>

日本通運、ポーランドに事務所開設

日本通運のドイツ現地法人であるドイツ日本通運は3月1日、ポーランドのヴロツワフに事務所を開設した。ポーランドに進出する70社以上の日系企業のロジスティック需要に対応するのが目的。ドイツ日通は、2000年にハンガリーにブダペスト支店、2002年にチェコにプラハ支店を設立しており、今回のポーランド事務所は、中東欧で3番目の拠点となる。

<OST14054>

フィアットのポーランド子会社、05年決算は3倍増益

フィアットのポーランド子会社フィアット・オート・ポーランド（FAP）がこのほど発表した2005年決算は純利益が2億9,580万ズロチと、前年から3倍近くに拡大した。売上高は86億ズロチ。

05年の生産台数は28万6,900台で、うち92.3%が輸出された。輸出高は18億3,000ユーロ。国内での販売台数は2万5,077台と、市場シェアは10.65%だった。（1PLN=36JPY）

<OST14055>

ポーランドの製薬メーカー、05年は増収増益

ポーランドの製薬会社Biotonが1日発表した2005年12月期決算は、純利益が前年比130%増の1,920万ズロチに拡大したものの、市場予測の2,700万ズロチを大きく下回った。売上高は17.7%増の1億5,160万ズロチ。シンガポール子会社SciGenを通じたアジア事業拡大のためのコストが予想外に嵩んだことや、登録手続きの遅れでロシアへの主力製品のヒトインスリン「Gensulin」の輸出が滞っていることなどが収益を圧迫した。

Biotonはポーランドのインスリン市場で15.6%のシェアを誇る。近年は国外事業の強化に力を入れており、昨年6月にはロシアのモスクワでインスリン工場の建設に着手したほか、中国でも現地生産する計画を発表している。（1PLN=36JPY）

<OST14056>

スズキ、ハンガリー工場の能力倍増へ

スズキは2月28日、2008年をメドにハンガリー工場の生産能力を30万台に倍増する計画を発表した。今年には伊フィアットと共同開発してきた世界戦略車「SX4」の生産を開始し、欧州市場における販売を昨年の26万7,000台から32万台に拡大したい考え。同工場は昨年、欧州市場向けの「スイフト」と「イグニス」を計13万7,000台生産している。

ハンガリー工場の能力増強は、世界市場における戦略の一環。同社は向こう5年間に日本やインドなどに1兆円を投じ、全世界での販売を200万台から2010年までに260万台に拡大する計画だ。

「SX4」は乗用車感覚の小型SUV（多目的スポーツ車）。ハンガリーのほか日本などでも生産し、北米などに投入する。

<OST14057>

TDK、ハンガリーのフェライト工場閉鎖へ

TDKのハンガリー子会社TDKエレクトロニクス・ハンガリーは、レーチャクにあるフェライトコア工場を3月末で閉鎖する。フェライト需要の減少で業績不振が続いているため。2日付『ブダペスト・ビジネス・ジャーナル』が、同工場関係者の談話として伝えた。

同工場は従業員107人でトランス（変圧器）向けフェライトコアを生産しているが、欧州のフェライト需要の減少や中国からの廉価品の流入により、過去7年連続して赤字を計上するなど低迷していた。なお、同じくレーチャクで行っているコンデンサやトランスの生産は続行する。

<OST14058>

チェコの貯蓄銀行大手、05年決算は最高益

チェコ貯蓄銀行Ceska sporitelnaがこのほど発表した2005年連結決算（国際会計基準、未監査）は、最終利益が前年比12.3%増の91億3,000万コルナに拡大した。前年はPojistovna CSの損害保険部門の売却益11億6,000万コルナを計上して利益が膨らんでいたが、カード決済、融資、預金、運用資産ともに伸びて最高益を達成した。

純利息収入は7.8%増の186億コルナに拡大したほか、手数料収入も2%増の86億コルナに達した。営業利益は9.8%増の124億コルナとなった。総資産額は12.4%増の6,540億コルナ、預金残高は8.3%増の4,816億コルナ、融資残高は18.4%増の2,830億コルナとそれぞれ拡大した。一方で、2005年末の顧客数は533万人と前年比で0.5%の微減となった。

Ceska sporitelnaは喫エルステ銀行の子会社で、顧客数では国内最大。Pojistovna CSやStavebni sporitelna CS、Penzijni fond CSなどを傘下に保有する。（10CZK=49JPY）

<OST14059>

チェコの石化大手ユニペトルル、05年決算は増収も減益

チェコの石油化学大手ユニペトルルが2月28日発表した2005年連結決算（未監査）は売上高が1,058億コルナと前年比で22%拡大したものの、純利益は34億6,000万コルナで6%の減益となった。原油高に伴う石油化学製品の価格上昇や販売好調で2ケタ増収を確保したが、中核子会社BenzinaとParamoの損失計上が響いた。クラルピイの精油所閉鎖もマイナス材料となった。

事業別では、ガソリンスタンド子会社Benzinaで損失が前年の100万コルナから4億9,900万コルナに拡大した。また、石油精製子会社Paramoは、1億5,700万コルナの黒字から2億6,700万コルナの赤字に転落した。一方、石油化学事業では、Chemopetrolが利益26億4,000万コルナを計上したほか、Spolanaも1億8,300万コルナを計上し、それぞれ過去10年間で最高益を記録している。ユニペトルル単体では、純利益8億4,400万コルナを計上。前年の1億8,600万コルナから大幅増益を達成した。

チェコ政府は昨年、ユニペトルル株式63%をポーランドの化学大手PKNオルレンに総額147億コルナで売却している。(10CZK=49JPY)

<OST14060>

チェコの電力最大手 CEZ、05年決算は最高益

チェコの電力最大手CEZがこのほど発表した2005年決算（非連結）は純利益が前年比70%増の176億コルナと、過去最高を記録した。電力価格が上昇したほか、コストが2.6%低下した結果、営業利益が52%増の196億コルナまで伸びた。また、子会社からの受取配当で財務収入が10億コルナ増加したことも反映された。売上高は8.7%増の676億コルナで、うち電力売上高は652億コルナに達している。

同社は石炭火力発電所11カ所や原子力発電所2カ所のほか、水力発電所や太陽発電所、風力発電所も有する。昨年の発電量は59.5テラワット時に達し、国内発電量の7割以上を占めた。(10CZK=49JPY)

<OST14061>

シュコダ自、新型車「ルームスター」を公開

チェコのシュコダ自動車はジュネーブで開催された国際自動車ショーで、新型ファミリーカー「ルームスター」の実車を公開した。同車種は2003年のフランクフルトモーターショーで発表したコンセプト車をベースとするもので、多目的車としては同社初。新型車を発表するのも5年ぶりとなる。

「ルームスター」の販売価格は33万9,900コルナから。小型車「ファビア」（22万4,900コルナから）とミドルクラスの「オクタビア・ツアー」（36万9,900コルナから）の間に設定された。3月末から同車種の生産を開始するクバシニ工場では、これに先立って能力を増強し、2,500人以上を新規採用している。今年は1万5,000台を生産する予定で、6月末に国内とスロバキア、オーストリア、ドイツで発売する。

同社は昨年、世界市場で過去最高となる49万2,111台を販売。今年は生産台数が50万台の大台を初めて突破する見通し。(10CZK=49JPY)

<OST14062>

TPCAのチェコ工場、フル生産で稼働

トヨタ自動車と仏PSAプジョー・シトロエンの合弁トヨタ・プジョー・シトロエン・オートモビル・チェコ（TPCA）は2日、稼働開始から1年を迎えたチェコ工場が昨年からフル生産していることを明らかにした。月産2万5,000台、年産30万台ペースで生産が続いており、昨年2月28日から今年3月までの生産台数は15万6,751台に達した。昨年の生産は10万3,819台、売上高換算で6億ユーロ（180億コルナ）。生産の99%は輸出向けとなっている。

チェコ工場はこの1年間で従業員数を倍の3,150人（臨時工を含む）に増員した。離職率も低い水準にとどまっており、現代自動車が近郊のモラビア地方に工場進出しても離職率は悪化しないと見込む。TPCAは新型車開発などでチェコに13億ユーロ（400億コルナ）を投じている。

<OST14063>

< 東欧・CIS諸国 > バルカン諸国・バルト諸国・ロシア・独立国家共同体(CIS)

セルビア政府、携帯大手の入札実施へ

セルビアのディンキッチ財務相は1日、近く実施する国営携帯電話会社モブテルの入札に関し、最低入札価格を7億ユーロに設定すると発表した。4月初旬に公告し、7月には売却を完了させる方針。同時に行われる事業免許の最低入札価格は2億8,000万ユーロ。

モブテルは加入者数200万人で、国内携帯電話サービス市場で5割のシェアを誇る。セルビア政府は1月、モブテルと取引のあったコソボ自治州の同業モビコス所有者をテロ支援者と断定。モビコスとの関係により国益を損ねたとして、モブテルから事業免許を没収したうえ、国営郵便・電気通信会社PTTの管理下に置いている。

<OST14064>

ゼロックス、2005年中央アジアの売上17%増

ゼロックスは2日、中央アジア（ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギス・カザフスタン）における売上が2005年に前年比17%増の1,900万米ドルに上ったと発表した。カザフスタンが売上全体の80%を占めた。モノクロプリンター、カラーレーザープリンター、多機能レーザープリンター、大判プロッターの販売が好調だった。

一方、コーカサス（アルメニア、グルジア、アゼルバイジャン）での売上高は前年比10%増の350万ドル。ゼロックスでは今年の中央アジア・コーカサスでの売上高は前年比で25%拡大すると見込んでいる。

<OST14065>

ロシアの自動車生産、1月は10%増

ロシアの自動車市場調査会社ASM Holdingがこのほど発表した2006年1月の国内自動車生産台数は8万4,396台と、前年同月比で10%拡大した。乗用車が6.3%増の6万8,433台に伸びたほか、トラック（シャシーも含む）が31%増の1万1,896台に拡大した。また、バスも29.6%増の4,193台と、2ケタ台の伸びを確保した。各社ともに年始の休暇スケジュールを変更し、長期休暇による影響を最小限にとどめたことが生産拡大の主因。

ASM Holdingは、3月～4月にかけて累計の生産台数が昨年同期と同水準に落ち着くと予測している。

<OST14066>

米クラフト、サンクト・ペテルブルクにコーヒー工場新設へ

食品・飲料大手の米クラフト・フーズは2月28日、サンクト・ペテルブルク近郊にインスタントコーヒーの製造工場を新設する計画を発表した。急成長しているロシア市場開拓に向け1億米ドルを投じて工場を新設し、現地生産に切り替える。雇用規模は約250人。外資による本格的なコーヒー製造工場は、スイスの食品大手ネスレに続き2社目となる。

新工場は年産能力5,000トンで、2007年10月から稼働する。生産するのは「ジェイコブズ・モナク」、「カルテ・ノワール」、「マキシム」。「マクスウェル・ハウス」や「ジェイコブズ・アロマ」は引き続きドイツと英国から輸入し、サンクト・ペテルブルク近郊に有する同社の充填工場（注）で小分け充填する。

ロシアのコーヒー消費量は8割がインスタントであり、インスタントコーヒー市場は2005年に前年比で実質80%以上拡大している。昨年にはネスレが南部のクラスノダール地方に1億2,000万米ドルを投じて工場を新設。11月に稼働を開始し、今年は「ネスカフェ・クラシック」を1万2,000トン製造する予定。

<OST14067>

いすゞ、ウクライナにトラック・バスの販社設立

いすゞ自動車は2月28日、ウクライナにトラック・バスの販売会社を設立すると発表した。部品を供給している地場メーカーのバグダン、大手総合商社の双日との合弁で、バグダン製のトラック及びバスの拡販を狙う。

新会社「いすゞウクライナ」はキエフに本社を置き、資本金は2,500万フリブナ(約5億円)。いすゞが30%、バグダンが50%、双日が20%を出資する。いすゞは1999年から小型トラック「エルフ」のプラットフォーム(車台)をバグダン向けに提供。バグダンは自社工場でその車台を使ってバスを組み立てている。

ウクライナの自動車市場は経済発展に歩調を合わせ順調に拡大している。市場規模は1995年の3万台から、2005年には17万台に拡大した。いすゞエルフをベースとするバグダン製バスは、1999年の販売開始以来、好調な販売を続けており、2005年は3,123台を出荷した。今年は3,500台を見込んでいる。今後は、小型トラック投入などの販売強化で、将来的にはロシア・CISへの輸出も含め年2万台規模の販売を目標としている。

<OST14068>

蘭ミタル・スチール、ウクライナで大規模投資

鉄鋼世界最大手の蘭ミタル・スチールが、生産増強に向けウクライナで12億米ドル規模の投資を計画している。昨年48億米ドルで取得したウクライナの大手製鉄所クリボリスタリで大規模な設備近代化を実施し、生産能力を2010年までに14%増強する。

ミタルはクリボリスタリの3つの溶鉱炉を近代化するほか、旧ソビエト時代の平炉を新型の転炉に切り換え、鉄鉱石生産量を昨年の1,550万トンから3,000万トンに拡大する。これに伴い、溶鋼生産量を695万3,000トンから年内に年産790万トンに、2010年までに1,000万トンまで引き上げる計画。

クリボリスタリは生産量の約8割をロシアや独立国家共同体(CIS)諸国などに輸出しており、国内外での販売量は月間平均60万トンに達する見通し。

<OST14069>

<公式統計>

ハンガリーの貨物輸送量、05年は4%拡大

ハンガリー中央統計局(KSH)がこのほど発表した貨物統計によると、2005年の貨物輸送量は前年比で4%拡大した。輸送距離と輸送量を乗じて算出するトンキロメートル単位では、13%の拡大。国内での輸送量が微増にとどまったのに対し、国外への輸送量が20%増加したことが輸送量を押上げた。輸送手段別に見ると、トラック輸送が前年から7%増え、全体の約75%を占めた。鉄道輸送は前年から6%減少し、全体の16%を占めるにとどまった。

一方、旅客輸送数は3%拡大した。格安航空各社が乗り入れているフェリヘジ国際空港からの旅客が25%近く増加したため。これに伴い長距離旅行者に占める航空利用者は6ポイント増の24%に達した。これに対し自動車利用者は2ポイント減の42%、列車利用者は4ポイント減の34%にそれぞれ後退した。

また、2005年末の登録自動車数は346万台と、前年から2.5%拡大した。乗用車が289万台で、新車登録は前年から1万6,000台減の23万9,716台だった。ブランド別ではオペルが40万台近くでトップ。2位以下はスズキ、フォルクスワーゲンと続き、前年3位だったLedaがトップ3から転落している。

<OST14070>

ハンガリーの貿易赤字、05年に縮小

ハンガリー中央統計局が3日発表した2005年の貿易統計(確定値)によると、輸出が前年比11.4%増の497億2,100万ユーロ、輸入が8.3%増の525億6,000万ユーロで、収支は28億3,900万ユーロの赤字となった。ただ、輸出が輸入を上回る伸びを示したことで、赤字幅は前年から10億7,500万ユーロ縮小した。

相手国別貿易収支は、ロシアが37億米ドル、中国が32億米ドル、日本で19億米ドルの赤字となった一方、英国は13億米ドル、ルーマニアは12億米ドル、フィンランドは12億米ドルの黒字となった。

<OST14071>

中東欧経済最前線

スロベニアのユーロ参加は2007年1月、エストニア、リトアニアは黄信号

ブダペスト特派員 鷲尾 亜子

スロベニアでは今月1日から、すべての価格について自国通貨トラルとユーロの二重表示が義務付けられた。スロベニアは、2004年6月から価格変動メカニズム(ERMII)に参加しているが、他の新規加盟国に先がけ、予定通り2007年1月のユーロを導入することがほぼ確実視されている。

2005年のスロベニアの財政赤字は対GDP比で2.1%、債務残高はGDP比29.9%、物価上昇率は2.4%とユーロ参加要件を満たしており、今月2日にスロベニアを訪問したバロゾ欧州委員長も同国に対し、「新規加盟国で最も早くユーロに参加する国となろう」と述べている。同国のユーロ参加時期に関する正式決定は、今年10月になされる予定となっているが、6月に予定される仮評価の時点で承認される可能性が高い。なお、スロベニアは新規加盟国の中では初めて2008年にEU議長国を務めることになっている。

一方、エストニアとリトアニアもスロベニアと同時期にERMIIに参加しており、ユーロ導入目標時期も同じく2007年1月であるが、欧州委員会側はその達成は難しいと見ている。その原因は、ユーロの参加要件の一つである物価上昇率に関して両国とも昨年は基準を満たせなかったためである。マーストリヒト条約では、物価上昇率はEU域内の最も低い物価上昇率の3カ国の平均値プラス1.5%以内と定められており、その基準に従うと現在の実際の数値は2.4%以内となるが、昨年の物価上昇率はエストニアが4.1%、リトアニアが2.7%だった。

欧州委員会は、参加要件は厳格に守られるべきであり、緩める予定はないと述べているが、エストニア、リトアニア両国は、物価が上昇したのは原油の高騰のためであり、経済政策の失敗のためではないと反発している。また、市場経済移行国で経済成長率の速い国々は物価が上昇しやすいため、それを特別に考慮する必要があると主張している。一方で、物価上昇率が低くても経済成長率で振るわない国があることも強調している。

もともと単一通貨ユーロの安定性、EU内の経済成長の確保を目的とした安定・成長協定(SGP)では、「財政赤字は対GDP3%以下」となっているが、フランス、ドイツが過去数年に渡ってこの規定を満たすことが出来ず、約1年前に財政赤字計算から年金コストなどを控除しSGPの運用を柔軟にしたのは記憶に新しい。そのため、欧州委員会がいくらユーロ参加要件は厳守すべしとしても、政治的に柔軟な解釈をするのは可能であり、要は政治力の問題である。今のところエストニアやリトアニアの表向きの主張はこの程度であるが、仮にスロベニアだけが2007年1月にユーロ参加を正式に認められ、両国がそれに漏れれば、EU域内では大国の意見ばかりが取り入れられる、といった不満が今後出てくることもありうるだろう。

東欧経済短信

ハンガリーの製薬会社Serbolabは2日、ロシアに鳥インフルエンザ用ワクチンの生産拠点を設立する方向で準備に入ったと発表した。建設予定地は南ウラルのチェリヤピンスクで、投資額は3,000万米ドルを見込む。

独ヘンケルのハンガリー子会社Henkel Magyarorszagは、05年の売上高が前年比1%増の631億フォリントとなった。国内売上は9%伸びた一方、輸出は7.6%減だった。

独ディスカウントスーパー大手アルディは、2007年に予定していたハンガリー進出を08年に先送りする。2日付現地紙「Nepszabadsag」が報じた。同社は30~40カ所の出店用地をすでに確保しているが、進出成功にはより多くの用地確保が必要と判断した。同社は中部ピアトルバージュに床面積6万平米の配送センターを設立するほか、国内4~5カ所に倉庫を設立する計画だ。

<OST14072>

<入札・提携情報> 東欧における入札・提携案件をお知らせしています**入札案件:**

- N669 ロシア：セミトレーラー・トラクター（25台）の調達
入札期限：5月23日、入札保証金：4万米ドル
コレボン：英語
問合せ先：Foundation for Enterprise Restructuring and Financial Institutes Development.
Attn. Mr. Valery Bondarenko, Head Contracts Department.
Address: 6, Novaya Perevedenovskaya St. 105082 Moscow, Russian Federation.
Tel: (7-495) 221-77-67. Fax: (7-495) 221-77-68.
E-mail: vbondarenko@fer.ru ホームページ: <http://www.fer.ru>
- N670 ロシア：森林火災における救助活動向けキャタピラー・トラクター（25台）の調達
入札期限：5月15日、入札保証金：5万米ドル
コレボン：英語
問合せ先：Foundation for Enterprise Restructuring and Financial Institutes Development.
Attn. Mr. Valery Bondarenko, Head Contracts Department.
Address: 6, Novaya Perevedenovskaya St.105082 Moscow, Russian Federation.
Tel: (7-495) 221-77-67. Fax: (7-495) 221-77-68.
E-mail: vbondarenko@fer.ru ホームページ site: <http://www.fer.ru>
- N671 ポーランド：ビデオスコープ（2台）、洗浄器の調達
入札期限：4月11日、納期：42日、入札保証金：6,000ズロチ
コレボン：ポーランド語
問合せ先：Szpital Powiatowy im. Dr. Aleksandra Majkowskiego,
Ms. Maria Buszisz, Ms. Janina Lewanczyk, Ul. Ceynowy 7, 83-300, Kartuzy, Poland
Tel: 58/ 6854800, Fax: 58/ 6854840,
E-Mail: szpital.powiatowy.kartuzy@wp.pl,
dariusz.banaszak@idea.net.pl
ホームページ: http://przetargi.ipzp.pl/szpital_kartuzy

<OST14073>

業務提携・パートナー求む

- T697 スロベニア：手刺繍製品の輸出を希望
コレボン：英語
問合せ先：Vanda Lapajne d.o.o., Mrs. Vanda Lapajne,
Mestni trg 13, 5280 Idrija, Slovenia
Tel:003865/3 77 34 44, Tfx: 5/3 77 34 44,
E-Mail:vanda.lapajne@siol.net, Int: www.vandalapajne.si
- T698 スロベニア：いびき止め（特許番号：EP 1369062A1）の輸出を希望
コレボン：英語
問合せ先：Mr. Edvard Kolar, Pristava 40, 3253 Pristava, Slovenia
Tel: 00386, Mob: 00386/40 4519 28,
E-Mail: ana.koprivc@volja.net

<OST14074>

< 目で見える東欧・CIS経済 >

中東欧見本市カレンダー (2006年3月～4月)		
開催期間	開催場所	見本市/展示内容
2006年3月19日～23日	タリン (エストニア)	MOTOREX - 国際自動車展示会
2006年3月21日～24日	キエフ (ウクライナ)	InterOilGas - 自動車燃料精製見本市
2006年3月21日～24日	キエフ (ウクライナ)	AUTOTECHSERVICE - 自動車関連セミナー、サービスステーション備品、自動車向け交換部品及び付属品の国際専門展示市
2006年3月21日～26日	ブラチスラバ (スロバキア)	AUTOSALON/AUTOSERVIS - 自動車・カーアクセサリの国際見本市
2006年3月22日～24日	ウヅジ (ポーランド)	Intertelecom - 国際電気通信見本市
2006年3月22日～25日	ブカレスト (ルーマニア)	CONSTRUCT EXPO-ANTREPRENOR - 建設及び建設資材の国際展示会
2006年3月22日～26日	ブルノ (チェコ)	一般消費財の春季見本市
2006年3月22日～26日	キエフ (ウクライナ)	Building & Architecture - 建築見本市
2006年3月23日～4月2日	ザグレブ (クロアチア)	ZAGREB AUTO SHOW - 自動車及び付属品メーカーの国際見本市
2006年3月23日～25日	プラハ (チェコ)	PRAGOTHERM/PRIGOTHERM - 暖房、冷蔵、空調、衛生設備の国際専門見本市
2006年3月23日～25日	プラハ (チェコ)	PRAGOREGULA/EL-EXPO - 測量、制御、電気機器の国際専門見本市
2006年3月23日～26日	ツェリエ (スロベニア)	DOMOFIN - 建築・リフォーム国際見本市
2006年3月29日～31日	キエルツェ (ポーランド)	ENEX - 国際電力見本市
2006年3月30日～4月2日	キエフ (ウクライナ)	MOTOBIKE - バイク見本市
2006年3月31日～4月2日	シチェチン (ポーランド)	BUD-GRYF - 国際建設見本市
2006年4月4日～7日	リュブリヤナ (スロベニア)	HEUREKA-ICT - 最新エレクトロニクスの国際展示会
出所: ダウジョーンズ; AUMA		

<OST14075>